

<創業120周年記念事業>
東洋大学経営学部 山本聡教授との共同研究

ドイツから学ぶ
中小企業経営者へのメッセージ
～共同研究報告書概要～

Check!

共同研究に基づくシンポジウム
中小企業の経営変革に向けて
を3月6日に開催しました!

当日の様様はこちらから
ご覧いただけます



ドイツ中小企業の特徴

ドイツは中小企業が多く、家族経営や個人事業の形態となっている事業者が多いなど、日本との類似点が多くありますが、規模の小さい会社にも「活力」があり、周辺国と比べても利益率が高い傾向にあります。その要因を分析したところ、以下のような特徴が見えてきました。

安売りをしない

自社の製品やサービスにこだわり、自社の強みを評価してくれる顧客を探す努力を惜しまない会社が多いようです（海外にも積極的にアプローチしています）。

（ドイツ経営者の声）

✓ 当社はニッチな製品を製造および販売しているため、業界大手の取引先とも価格交渉を行うことが可能。

✓ あえて高いスペック・技術を必要とする顧客層にターゲットを絞り、当社の技術を高めていくことが適正な利益確保につながる。

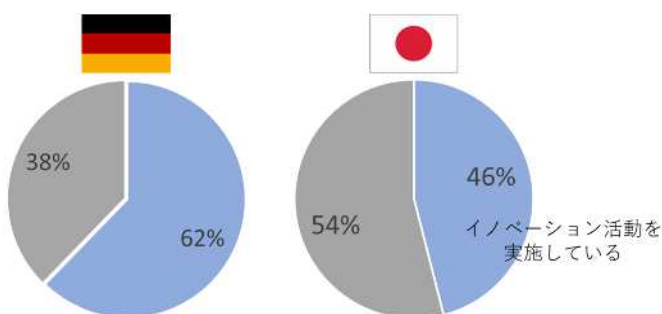
（日本経営者の声）

✓ ドイツ中小企業は、顧客目線で提案をしっかりとってくれる。良いものづくりをしたいという想いが強い。

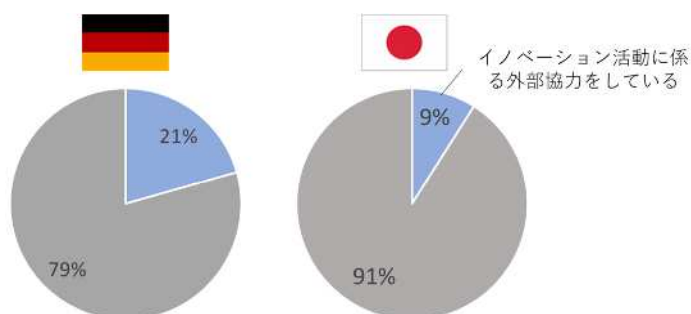
革新性を重視

自社の製品やサービスが高く評価され続けるよう革新を重視しています。そのために、産学連携や企業間連携も盛んに行い、他者の知恵も活用している中小企業が多いようです。

革新（イノベーション）活動の実施状況



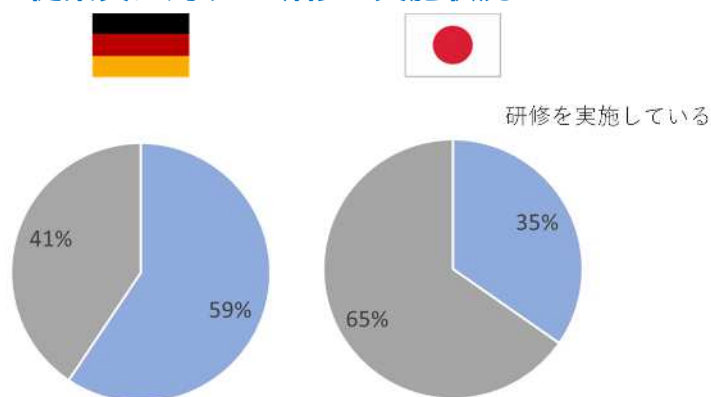
革新（イノベーション）活動に関する外部連携の実施状況



ヒトを大切にする

ドイツでも人材確保は重要な経営課題の1つです。従業員を大切にし、人材に必要な投資を行っており、従業員のモチベーションを高める工夫もしています。

従業員に対する研修の実施状況



(ドイツ経営者の声)

- ✓ 若い世代は、ワーク・ライフ・バランスを重視する者が多く、この点にも配慮。
- ✓ 採用と研修には力を入れている。当社では特に従業員の自己実現を大事にしている。

組織のマネジメントをしっかりと

輸出をしたり、外部と協働するために必要な組織のマネジメントを実践しています。外部専門家を頼った方がよい業務については、積極的に外部専門家を活用するという姿勢もうかがえます。

(ドイツ経営者の声)

- ✓ ほとんどの自営業者は、税務コンサルタントに会計業務の助言を受けたり、監査を受ける等の対応をしている。当社でも会計業務については社外の専門家を頼りにしている。



中小企業経営者の皆さまへのメッセージ

ドイツ中小企業は、何か特別なことをしているわけではなく、基本に忠実な経営を実直に行っているのが実態のようです。

足りないものは補う

将来の自社の姿や経営者ご自身、ご家族の姿を思い描いた時に、不足している経営資源を補っていく努力をすることは重要

行政支援も活用して

海外で顧客を開拓すること、産学連携や企業間連携に取り組むことでイノベーションを実現すること、どうやっていいかわからないときは行政支援も活用を

自社の良さをしっかり伝えて

自社製品やサービスの良さをしっかり伝えるためにブランディング等も大事。専門家や支援機関の助言も受けて、高く買ってもらおう工夫を

戦略や組織作りをしっかりと

社内マネージャーをしっかり育成することや、経営者として構築すべき仕組みを構築したり、税理士の助言等も活用して経営の高度化を

DAIDO 大同生命保険株式会社

本社(大阪) 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目2番1号
(東京) 〒103-6031 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

<https://www.daido-life.co.jp/>

ご興味を持っていただけたら、「調査研究報告書」もご一読ください。大同生命のホームページよりご覧いただけます。

https://www.daido-life.co.jp/knowledge/joint_research/toyo.html

